

# 「徳光小学校の棒踊り伝承活動の取組」

## 1 学校名

指宿市立徳光小学校

## 2 学年・人数

4年生から6年生（計34人）

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

令和2年9月 体育（体育館）

令和2年9月 運動会予行（校庭）

### (2) 発表の日時・場所

令和2年9月27日（日） 閉校記念運動会

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

### (1) 名称

浜児ヶ水棒踊り（はまちよがみず ぼうおどり）

### (2) 由来

山川町誌によると，浜児ヶ水区の棒踊りの始まりは，現在の県立山川高校の前身である山川町立山川青年学校創立4周年記念体育祭（昭和17年9月ごろ）に各地区の青年団が出場することになり，その当時，浜児ヶ水区には棒踊りがなく，福元区の青年団から棒踊りを習ったことがきっかけで，今日まで継承されている。

現在では，子ども会活動の一環で，徳光小学校3年生から6年生が保存・継承活動に取り組んでいる。

### (3) 構成等

三尺棒と六尺棒を素早い動作で打ち合う踊りで，息を合わせて踊る子どもたちの真剣な表情が印象的である。また，列の中央に立つ2人が前後に素早く入れ替わる姿も必見である。

## 5 保存会や地域との連携の具体

この棒踊りは，昔は青年団らの大人が踊り継承していたが，それが難しくなり一時期途絶えたものを，子ども会活動による保存継承活動が始まり，現在に至っているものである。

学校では，前年度に学習した上級生が下級生に教える形も取り入れて，受け継ぐようにしている。運動会で披露した後は，地域子ども会が主となって練習を行った。指宿商工会議所主催の「いぶすき産業まつり」で，会場に来た多くの方々に披露することができた。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が連携協力しながら棒踊りを継承していくために、運動会の演技種目に位置づけ、学校も支援している。

地域では、子ども会育成会を中心に、地域でのイベントで披露している。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



閉校記念運動会での発表

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【児童】

- ・去年の様子動画を見たり、上級生が手本を見せてくれたりするので早く覚えることができた。
- ・昼休みに6年生が教えてくれたので、上手になった。
- ・お家の人や地域の方が喜んでくれたので、うれしかった。

### 【地域の方から】

- ・地域の伝統行事を運動会で披露するために取り組んでいただき、大変感謝している。
- ・子どもたちは、地域の行事に積極的に参加して活動している。このことがきっかけとなり、地域の方とのふれあいも増えている。
- ・子どもたちも伝統を守り、一生懸命いろんなことに取り組んでいると思う。
- ・小学校が閉校になり、地域との関わりが少なくならないように、地域としても取り組みたい。